

WILL Ver7

Access導入 組合せ表

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

～ 動かないシステムを作らない為にぜひ知っておいていただきたい事 ～

— 第5版 —

2025年6月28日

(株)アマダ

(株)ケーブルソフトウェア

1 はじめに

(1) Access導入対象

受注出荷モジュール(進捗キット含む)、見積モジュールはAccessが必要です。
画像モジュールはAccessは不要です。

(2) Accessバージョン

Ver7はAccess2013-2024およびMicrosoft365(旧称Office365)に対応しています。(※1)
Ver7は、32bit/64bitのどちらにも対応しています。

(3) 導入対象

アプリサーバーには製品版(有償)をご利用ください。
クライアントはランタイム版(無償)でも可能です。もちろん製品版(有償)でも可能です。(※2)

	受注出荷	見積	画像	進捗
アプリサーバー	製品版	製品版	—	—
クライアント	ランタイム版/製品版	ランタイム版/製品版	—	ランタイム版/製品版

(※1)「Office2024ProPlusLTSC」「Access2024LTSC」という企業向け製品(旧称:ボリュームライセンス)もありますが、インストールが非常に難しい、個人向けOfficeとの共存不可などの理由からお勧めしておりません。

(※2) 製品版は作成と動作の両方が行え、ランタイム版は動作のみ行えます。
他にも製品版は、マウス右クリックでコピー&貼付け、EXCEL等へのファイル出力なども可能です。

1 はじめに

(4) 導入先PCのOffice環境

導入先PC	アプリサーバー	クライアント	備考
Microsoft365(Access付)	—	—	製品にACCESSが含まれています
Office 2016-2024 Pro(Access付)	—	—	製品にACCESSが含まれています
Office 2016-2024 Personal等 (※1)	○ Access2016-2024 製品版 (※3)	○ (※3) MS365Access (※5) ランタイム	同一バージョンの場合のみ共存可能
Office 2013 Pro(Access付) (※2)	—	—	製品にACCESSが含まれています。
Office 2013 Personal等 (※1)(※2)	× Access2016-2024 製品版	× (※3) MS365Access (※5) ランタイム	Access2016-2024製品版または MS365Accessランタイムをインストールしたら 先に入っていたOffice 2013 Personal が消えました
		○ Access2013 (※4) ランタイム	

— : インストール不要、○ : 共存可能、× : 共存不可

(※1) ここで言うPersonal等はAccessを含まない製品を指します。(Accessを含む製品であれば共存問題そのものが発生しません)

(※2) Office 2013 以前のバージョンは既にサポート終了になっています。MS365かOffice2016以降の利用をお勧めします。

(※3) Office2013からクイック実行形式のインストーラに変わりました。

(※4) 従来からあるMSI形式というSetup形式のインストーラです。

(※5) MS365はMicrosoft365を指します。

1 はじめに

(5) プリインストール版とダウンロード版の共存問題

〔現象〕

プリインストール版Officeが入っているPCに、ダウンロード版Access（製品、ランタイム）をインストールしたら
「先に入っていたOfficeが消える」ことがあります。

〔発生条件〕

既にプリインストール版Officeが入っている場合のみ。ダウンロード版Officeは問題なし。

〔対策〕

お客様にプリインストール版Officeの購入は勧めない。
 既に購入済ならマイクロソフトアカウント紐付後に再インストールする。（ダウンロード版Officeに入れ替える）

〔プリインストール版〕



Excel のバージョン情報

Excel のバージョン情報
 Excel、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。
 バージョン 2406 (ビルド 17726.20126) **MSStore**

〔ダウンロード版〕



Excel のバージョン情報

Excel のバージョン情報
 Excel、サポート、プロダクト ID、著作権に関する詳細情報。
 バージョン 2406 (ビルド 17726.20126 **クイック実行**)

1 はじめに

(6) ボリュームライセンス版とダウンロード版の共存問題

〔ボリュームライセンスとは〕

ボリュームライセンス版は、主に大企業向けの永続型ライセンス商品です。

2021年で販売は終了しています。

ダウンロード権が付いていること、インターネット接続なしでもインストール可能なことが特徴です。

インストール方法は非常に複雑です。(企業の情報システム部向け)(※1)

マイクロソフト社(法人営業)かマイクロソフト社パートナー企業でのみ販売されています。

〔共存問題〕

ボリュームライセンス版とダウンロード版ACCESSは共存できません。

ボリュームライセンス版とMS365Accessランタイムも共存できません。

〔対策〕

お客様にボリュームライセンス版Officeの購入は勧めない。

既に導入済みであれば Access2013/2016ランタイム(Setup形式のインストーラ)を試す。

ダメならACCESS付Office(例: Office2016ProPlus)に入れ替える。

(※1)バージョン2016までは従来のSetup形式だったのですが、バージョン2019からインストール方法が大きく変わりました。

1 はじめに

(7) LTSC版とダウンロード版の共存問題

〔 LTSCとは〕

LTSCは「Long-Term Servicing Channel」の略で、主に大企業向けの永続型ライセンス商品です。2021年から「ボリュームライセンス版」の後継商品として販売されています。ダウンロード権が付いていることと、インターネット接続なしでもインストール可能なことが特徴です。インストール方法は非常に複雑です。(企業の情報システム部向け)
マイクロソフト社(法人営業)かマイクロソフト社パートナー企業でのみ販売されています。

〔共存問題〕

LTSC版とダウンロード版ACCESSは共存できません。
LTSC版とMS365Accessランタイムも共存できません。

〔対策〕

お客様にLTSC版Officeの購入は勧めない。
既に導入済みであれば Access2013/2016ランタイム(Setup形式のインストーラ)を試す。
ダメならACCESS付Office(例: Office2021ProPlus)に入れ替える。

2 事前のOffice環境調査

まずはインストール対象コンピュータの保有Officeを調査してください。

アプリサーバー…(受注出荷・見積)	クライアント…(受注出荷・見積・進捗)
☐ Officeは入れるつもりだがバージョンは未定	☐ Officeは入れるつもりだがバージョンは未定
☐ MS365 (Access付)	☐ MS365 (Access付)
☐ Office2021Pro (Access付)	☐ Office2021Pro (Access付)
☐ Office2019Pro (Access付)	☐ Office2019Pro (Access付)
☐ Office2016Pro (Access付)	☐ Office2016Pro (Access付)
☐ Office2013Pro等 (Access付)	☐ Office2013Pro等 (Access付)
☐ Office2024Home等 (Access無)	☐ Office2024Home等 (Access無)
☐ Office2021Personal等 (Access無)	☐ Office2021Personal等 (Access無)
☐ Office2019Personal等 (Access無)	☐ Office2019Personal等 (Access無)
☐ Office2016Personal等 (Access無)	☐ Office2016Personal等 (Access無)
☐ Office2013Personal等 (Access無)	☐ Office2013Personal等 (Access無)
☐ Officeを入れるつもりはない	☐ Officeを入れるつもりはない

↓
いずれか一箇所にチェック

↓
パソコン毎にチェック

(※1) Office付パソコン(プリインストール版OfficePersonal)は注意が必要です。

Access製品版(有償版)/Accessランタイム版(無償版)のインストールで既存のプリインストール版Officeが消える事象が複数社で発生しました。

復旧にはプリインストール版Officeの再インストールが必要になります。

(※2) 既に企業向けOffice(ボリュームライセンス、LTSC)が入っている場合は、弊社(ケーブルソフトウェア)にご連絡ください。

3 アプリサーバーへの導入

アプリサーバー環境	アプリサーバーAccess導入選択肢
Officeは入れるがバージョンは未定	MS365…推奨
	Office2016-2021Pro (Access付) (※3)
	Office2024Home等 (Access無) + Access2024
MS365 (Access付)	そのまま利用
Office2021Pro (Access付)	そのまま利用
Office2019Pro (Access付)	そのまま利用
Office2016Pro (Access付)	そのまま利用
Office2013Pro (Access付)	そのまま利用 (※2)
Office2024Home等 (Access無)	Access2024
Office2021Personal等 (Access無)	Access2024
Office2019Personal等 (Access無)	Access2024
Office2016Personal等 (Access無)	Access2024
Office2013Personal等 (Access無)	Access2024…× (Office2013Personalが消えました) (※1) (※2)
Officeを入れるつもりはない	Access2024

(※1) マイクロソフト社は技術的な問題が発生する可能性があるとして異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としております。

(※2) Office2013以前のバージョンは既にサポート終了となっています。MS365かOffice2016以降の利用をお勧めします。

(※3) 2025.06.18現在Office2024Proは販売されていません。

(※4) 既に企業向けOffice (ボリュームライセンス、LTSC) が入っている場合は、弊社 (ケーブルソフトウェア) にご連絡ください。

4 クライアントへの導入

クライアント環境	クライアントAccess導入選択肢
Officeは入れるがバージョンは未定	MS365…推奨
	Office2016-2021Pro (Access付) (※3)
	Office2024Home等 (Access無)+MS365Accessランタイム
MS365 (Access付)	そのまま利用
Office2021Pro (Access付)	そのまま利用
Office2019Pro (Access付)	そのまま利用
Office2016Pro (Access付)	そのまま利用
Office2013Pro (Access付)	そのまま利用 (※2)
Office2024Home等 (Access無)	MS365Accessランタイム
Office2021Personal等 (Access無)	MS365Accessランタイム
Office2019Personal等 (Access無)	MS365Accessランタイム
Office2016Personal等 (Access無)	MS365Accessランタイム
Office2013Personal等 (Access無)	MS365Accessランタイム…× (Office2013Personalが消えました) (※1) (※2) Access2013ランタイム…○
Officeを入れるつもりはない	MS365Accessランタイム

(※1) マイクロソフト社は技術的な問題が発生する可能性があるとして異なるバージョンの共存利用は「動作保証外」としております。

(※2) Office2013以前のバージョンは既にサポート終了となっています。MS365かOffice2016以降の利用をお勧めします。

(※3) 2025.06.18現在Office2024Proは販売されていません。

(※4) 既に企業向けOffice (ボリュームライセンス、LTSC) が入っている場合は、弊社 (ケーブルソフトウェア) にご連絡ください。

5 特記事項

(1) MS365

正式名称はMicrosoft 365です。

サブスク型(月次/年次)商品です。

OfficeProと同様にAccessなどOffice製品が全部含まれています。

(一部にAccessを含まない製品もあります。必ずAccessが含まれている製品を購入してください)

自動アップデートで常に最新版が利用できます。

対応OSはWin10以降です。

1ライセンスで同一ユーザー用として5台まで利用できます。

価格も安く設定されており、お得な商品です。

(2) Access2024

永続型(買取り型)商品です。

1ライセンスで同一ユーザー用として2台まで利用できます。

対応OSはWin10以降です。

(3) 同一PC内の異なるOfficeバージョン混在

例えば、Office2016Personal(Access無)にAccess2013ランタイムを共存させるシーンです。

マイクロソフトは技術的な問題が発生する可能性があるとして、1つのパソコンの中で異なるOfficeバージョンの共存利用は「動作保証外」としております。

しかしながら、[2025/6/20](#)現在、弊社テストでは問題は発生しておりません。

恒久的に問題なしとは言えませんが、まずは試して頂く価値はあると考えております。

5 特記事項

(4) サーバー・クライアント間の異なるAccessバージョンの動作

例えば、アプリサーバーはOffice2021Pro、クライアントはOffice2013Personal+Access2013ランタイムのケースです。

一般的には、

- ・サーバー(2016) > クライアント(2013) …クライアントは動作しない可能性があります(関数が見つからない等のエラー)
- ・サーバー(2013) < クライアント(2016) …クライアントは動作します(上位互換)

となります。

しかしながら、[2025/6/20](#)現在、弊社テストでは問題は発生しておりません。

恒久的に問題なしとは言えませんが、まずは試して頂く価値はあると考えております。